

防犯隊の活動 広く知ってほしい



小浜市防犯隊
第13支隊 支隊長
きょうたに ひろこ
京谷 宏子 さん
(60歳・雲浜二丁目)

隊員は、年齢も地区もバラバラな女性のみで構成されており、現在は10人で活動しています。私が加入してから、本年度で4年目を迎え、2年前からは支隊長に任命されています。

知人に誘われ、楽しそうな活動だなと、軽い気持ちで加入したのがきっかけです。

入隊したときには、隊員のほとんどが新人で、どのような活動をすればいいのか、手探りの状態だったことを覚えています。そのような中、広報活動に経験がある隊員の助力もあり、3年前からは、

防犯思想の普及啓発とともに防犯隊のPR活動にも取り組んでいます。

60年にわたって防犯活動を続けている防犯隊ですが、活動をはじめから、その知名度の低さに驚きました。その一方で、隊長や副隊長をはじめ、各支隊長と話をすると、皆さんが一樣に市民や防犯隊に対する熱い思いを語ってくれたことが印象的でした。

今回の特集で活動のすべてを紹介することはできませんが、少しでも小浜市防犯隊について知ってほしいと思います。



□問い合わせ 生活安全課 ☎64・6007



上段左：防犯だけでなく防災にも役立つ「防犯防災体験学習」を実施／上段右：女性のための女性による「護身術講座」で小浜警察署の女性警察官らが参加者を指導

中段左・中：防犯意識の高揚を目的に宮川ふるさとまつりや暮らしの講演会で「防犯パトロールの歌」を踊り付きで披露／中段右：青色回転灯を装着した車両で夜間パトロールを実施

下段左・右：夏期特別パトロールとして市内の公共女子トイレの一斉防犯検査を実施

皆さん、本市には「小浜市防犯隊」という防犯組織があることを知っていますか。

小浜市防犯隊は、犯罪の増加、青少年非行の増加を背景に、防犯思想の普及と犯罪予防活動の中核組織として、昭和30年6月に発足。当時の隊員は消防団員の中から選出され、隊などの編成も消防団と同じくして運営されてきました。

しかし、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、防犯隊と消防団との兼務体制の見直しと近隣町村防犯隊との応援協定による広域体制の確保が図られ、9年には消防団と分離して独立しました。

独立当初は、隊長・副隊長の下に10の分隊で組織されていましたが、11年4月に現在の行政区ごとに12の分隊に分かれ、12年4月に分隊の名称が支隊に変更。16年4月には、新たに女性だけで組織された支隊が発足しました。

現在は、隊長・副隊長の下に、地区ごとに12の支隊と女性のみで構成された支隊、合わせて13の支隊で活動しています。



小浜市防犯隊の第13支隊って？

小浜市防犯隊第13支隊は女性だけで構成された部隊です。

平成15年度まで、防犯隊には女性隊員が在籍していませんでした。当時、市では男女共同参画の実現に向けた取り組みを推し進めており、防犯隊においても、女性の活躍を求める声が上がったことから、16年度に女性支隊が発足しました。

今回の特集では、第13支隊と防犯隊の活動について紹介していきます。

